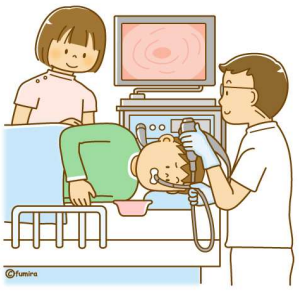
胃内視鏡検査を受けられる方へ

胃内視鏡検査とは？

内視鏡カメラを口から入れ、食道・胃・十二指腸を内側からみる検査です。
カメラは人差し指くらいの太さで、検査時間は10～20分程度です。
潰瘍やポリープなどの病気がある場合は粘膜の一部を採り、
顕微鏡で細胞を観察する「生検」と呼ばれる検査を行うこともあります。



胃内視鏡検査の流れ

検査前日（　月　日）

夜8時以降は禁食となります。
夕食は午後8時までに消化の良い物を軽く食べてください。

検査当日（　月　日）

朝食は食べることはできません。水・お茶は飲んで構いません。

血圧・心臓・喘息の薬は
服用してください。

糖尿病薬の内服・注射は
医師の指示に従ってくださ

お薬手帳など飲んでいる薬が分かるものを持参してください。

自転車・バイク・お車でのご来院はご遠慮ください。
眠くなる薬を使用するため、検査後もふらつきや眠気が残る
場合があり危険です。

検査準備
①更衣室で検査着に着替えます。（義歯は外して頂きます）
（コルセット・ガードル等、お腹を圧迫するものは外します）
②問診・検査同意書の確認をします。
③血圧・脈拍など測定します。
④水薬を飲みます。（胃の泡を消して胃内をみやすくするためです）
⑤点滴をします。（鎮静剤など使用するための準備の点滴です）

検査開始
⑥検査用ベッドに横になります。
⑦喉の麻酔をします。
⑧安全に検査を行う為、マウスピースをくわえます。

検査中は、ゆっくり大きく呼吸をしましょう。
口の中に溜まった唾液を飲み込むと、むせて辛くなりますので

これで検査終了です。
検査後は、しばらく内視鏡室内のベッドで休んで帰宅となります。
検査後の食事開始時間については、検査後に内視鏡室にてご説明致します。

一般社団法人 熊本市医師会
熊本地域医療センター

熊本地域医療センター　内視鏡室　2013.6作成　2018.1改訂